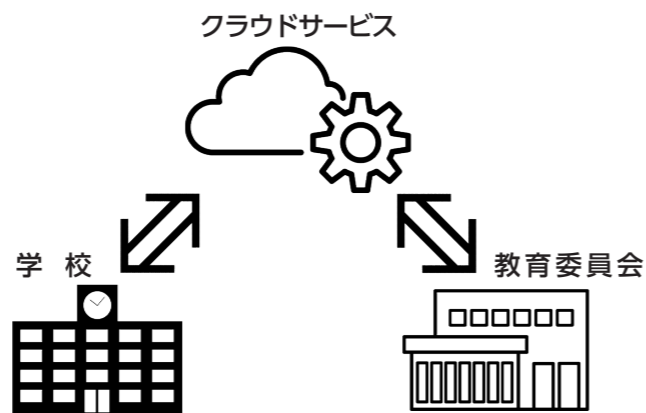


Ⅲ 教育・文化の振興と拠点づくり

教委・学校間情報共有システム等更新事業
新規 430万円

更新時期を迎えた教委・学校間情報共有システムをクラウド方式へ転換することで、教育委員会と各学校間での即時性の高い情報共有により、事務処理などが効率化されるほか、ICT化の促進や授業効率の向上が図られます。



Ⅳ 生活環境・生活基盤の充実

移住促進対策事業
変更 214万円 → 272万円

現在のお試し暮らし住宅（宮の森荘）に加え、旭日団地の町営住宅1室をお試し暮らし住宅とすることで、雄武町への移住の促進に努めます。

飼い主のいない猫の不妊去勢手術助成事業
新規 40万円

飼い主のいない猫への不妊去勢手術に要する経費に対し、助成金を交付することで、保護猫活動を実施している個人などを支援し、飼い主のいない猫の抑制に努めます。

災害備蓄推進事業
変更 350万円 → 1,321万円

必要な物資の確保や避難所などへの円滑な物資の供給を行うため、災害備蓄倉庫に中二階を設置し、有事の際の機能強化を図ります。



Ⅴ 協働によるまちづくりの推進

職員住宅整備事業
新規 870万円

地域おこし協力隊として町で採用している職員の住宅については、建設後40年以上経過しており、老朽化が進行していることから、住宅の改修を行います。

議場音響設備等更新事業
新規 1,726万円

議場音響設備については、設置から30年以上が経過していることから経年劣化が著しいため、設備の更新を行い、地方公共団体の意思決定や執行機関を監視する議会の機能を維持します。

町財務企画課企画調整係

第6期雄武町総合計画後期実施計画 ローリング（見直し作業）を実施！

第6期雄武町総合計画は、平成30年度から令和9年度までの10カ年を期間とする「基本構想」と基本構想をもとに前期と後期の5カ年ごとに策定する「基本計画」、基本計画推進に向けた事業を定める「実施計画」、財源を健全に確保する「財政計画」の4層構造となっています。

このうち「実施計画」は、各年度の予算編成における基本指針となるもので、社会情勢の変化や時代のニーズに対応するため、毎年度、ローリング（見直し作業）を行っています。

今月号では、本年度のローリングによって位置づけられた主な「新規事業」および「内容変更事業」についてお知らせします。なお、これらの事業は、町議会における予算の議決を経て、正式に実施することが決まります。

新規・内容変更した主な事業（事業費は令和6年度実施分）

I 地域産業の振興と雇用の創出

漁場監視レーダー更新事業

新規 700万円

平成9年度の設置から25年が経過し、老朽化が著しいことから、漁場監視レーダー1基の更新を行う雄武漁業協同組合に費用の一部を補助することで、貴重な水産資源の保護を図ります。

雄武高等学校特産品開発プロジェクト支援事業

新規 110万円

特産品開発によるマーケティングの拡大や道の駅などへの集客など、町の経済活性化を図るため、雄武高等学校が取り組んだ特産品開発プロジェクトの継続のための支援を行います。

II 保健・医療・福祉の充実

児童センター整備事業

新規 101万円

近年の温暖化による暑さにより、熱中症の恐れが高まってきており、児童生徒の安全を確保するため、エアコンの取付工事を行います。

福祉施設等整備事業

変更 0万円 → 105万円

雄武町社会福祉施設長寿命化計画に基づき、老朽化などにより改修が必要な施設や設備について計画的な改修を行い、福祉施設の長寿命化を図ります。



見直し後の「後期実施計画書」に記載されたすべての事業は、雄武町公式ホームページと財務企画課窓口で公開しています。

